

## 平成19年度 第1回 鳥取大学経営協議会 議事要旨

日 時 平成19年6月11日(月) 15:00～17:15

場 所 鳥取大学事務局 第1会議室

出席者 岡本 公男、長谷川 善一、柴田 英杞、能勢学長、高木理事、  
林理事、小林副学長、井藤副学長、豊島病院長の各委員

欠席者 平井 伸治、永瀬 正治、古澤 巖、吉岡 秀樹の各委員

[陪席者] 森本監事、本名理事、岩崎理事、高阪副学長、永山副学長、清水副学長、  
岡田地域学部長、中島農学部長、河合工学部長

議事に先立ち、学長から経営協議会の審議事項は、鳥取大学経営協議会規則第4条の審議事項に記載してあるとおり、中期計画・年度計画、役員報酬、職員の手当、組織体制・職員の配置等であり、外部委員からの意見・指導を賜って経営・運営に活かしていきたい旨の挨拶があった。

続いて、財務企画課長から、外部委員の紹介があった。

### 議 事

#### 1. 平成18年度国立大学法人鳥取大学の決算について

学長から、平成18年度決算について審議願いたい旨の提案があり、高木理事から、資料1-1～1-6に基づき、平成18年度における損益計算書、貸借対照表について説明した後、平成18年度は約23億円の利益（内 現金の裏付けがある利益 約7億5千万円）が発生する見込みである旨、会計監査人及び監事による監査結果によっては若干の修正がある旨の概要説明があり、審議の結果、字句等の修正も含め学長に一任することで了承された。

なお、このことについては、6月末迄に文部科学省に申請した上で、8月下旬を目途に承認される予定である旨説明があった。

また、財務分析として、健全性・効率性・収益性・発展性・活動性を見るための代表的な指標について説明があった。

#### 2. 平成18年度実績報告書について

学長から、平成18年度実績報告書について審議願いたい旨の提案があり、小林副学長から、資料2及び資料1-2に基づき、概要、教育・研究・地域貢献活動に係る取組状況及び中期計画に対する進捗状況、並びに教職員の業績評価等の概要について説明があり、審議の結果、承認された。

なお、現在調整中の事項もあることから、それらをまとめた上で6月末までに文部科学省へ提出し、9～10月にかけて評価結果が出される予定である旨併せて説明があった。

#### 3. 平成20年度概算要求事項について

学長から、平成20年度概算要求事項について審議願いたい旨の提案があり、高木理事から、資料3に基づき、各部局から要求のあった事項を取りまとめ要求していく旨説明があった。

次いで学長から、今後とも、文部科学省と協議しながら進めていくこととなり、字句等の修正も含め一任して欲しい旨発言があり、了承された。

#### 4. 大学機関別認証評価 自己評価書（案）について

学長から、大学機関別認証評価 自己評価書（案）について審議願いたい旨の提案があり、小林副学長から、資料8に基づき、大学機関別認証評価とは、全ての国立大学法人が7年間に一度、外部機関による「大学の目的」「教育研究組織」「財務」「管理運営」等の評価基準に基づく評価である旨の説明の後、特に教育活動に対する自己評価の概要について説明があり、審議の結果、了承された。

なお、現在取りまとめ中であることから、それらを取りまとめた上で6月末までに文部科学省へ提出し、10月の評価委員による訪問調査等を経て、来年3月に評価が公表される予定である旨併せて説明があった。

### 報 告

#### 1. 決算剰余金(目的積立金)会計予算に係る平成18年度決算報告について

高木理事から、資料4に基づき、平成18年度決算について報告があった。

#### 2. 法人化に伴う承継剰余金会計予算に係る平成18年度決算報告について

高木理事から、資料5に基づき、平成18年度決算について報告があった。

#### 3. 平成18年度資金運用実績について

高木理事から、資料6に基づき、平成18年度資金運用実績について報告があった。

#### 4. 国立大学法人を取巻く最近の状況について

学長から、国立大学法人を取巻く最近の状況として、資料7（経済諮問会議資料の抜粋）に基づき、「研究資金の選択と集中」「学生による大学の選択と国際化」「大学の努力と成果を踏まえた国立大学法人運営費交付金の配分」の方針について報告があった。

### その他（外部委員等からの発言）

岡本委員）教育の場としての国際交流を今後とも推進され、教育の核として一層充実されたい。

柴田委員）文化施設においてもコスト削減とサービスの質の向上が求められているが、一方で文化の評価について数値で測ることは難しいものがある。私の立場から見ても、大学と共通の課題であると認識した。その上で、長期的なプランも必要ではないかと認識した。

長谷川委員）社会の評価を得るために、地域と一体感を持つことが必要である。具体的には、研究の題目等を工夫され、地域の人々に分かりやすい、伝えやすい研究を推進することも必要ではないか。

⇒ 教育・研究も分かりやすく伝えられていない。社会の評価を受けながら、運営していくことの必要性は認識しているが、実際は難しい。

以 上

## 平成19年度 第1回経営協議会 議事次第

日 時 平成19年6月11日(月) 15時00分～17時00分  
場 所 鳥取大学 事務局第1会議室

### 議 題

1. 平成18年度国立大学法人鳥取大学の決算について
2. 平成18年度実績報告書について
3. 平成20年度概算要求事項について
4. その他

### 報 告

1. 決算剰余金(目的積立金)会計予算に係る平成18年度決算報告について
2. 法人化に伴う承継剰余金会計予算に係る平成18年度決算報告について
3. 平成18年度資金運用実績について
4. 国立大学法人を取巻く最近の状況について
5. その他

### 【配布資料】

- (資料1-1) 平成18事業年度財務諸表(案)
- (資料1-2) 平成18事業年度財務諸表(附属明細書)(案)
- (資料1-3) 平成18年度決算報告書(案)
- (資料1-4) 平成18年度事業報告書(案)
- (資料1-5) 貸借対照表・損益計算書
- (資料1-6) 当期総利益の主な発生要因の内訳について
- (資料2) 平成18年度事業実績報告書
- (資料3) 平成20年度概算要求事項(案)について
- (資料4) 決算剰余金(目的積立金)会計予算に係る決算報告について
- (資料5) 法人化に伴う承継剰余金会計予算に係る決算報告について
- (資料6) 平成18年度資金運用実績報告書
- (資料7) 国立大学法人を取巻く最近の状況について

鳥取大学経営協議会に係る参考資料

- 1) 鳥取大学経営協議会資料
- 2) 平成19年度鳥取大学経営協議会委員名簿
- 3) 鳥取大学経営協議会議題等一覧【平成16年度～18年度】